

CONTENTS

- P1 能登半島豪雨 捜索・救出救助活動
 - P2 「清流の国ぎふ」文化祭2024/第41回北海道支部激励会
 - P3 全国警察空手道選手権大会
- Member's Lounge 「ウェルビーイングな組織が生産性を高める
～「生成AI×人」でここまでできる」矢野和男氏

発行所 一般社団法人
機動隊員等を励ます会
〒103-0025 東京都中央区
日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館
発行人 中村 真一
TEL 03(5614)0710
FAX 03(5614)0719
http://www.hagemashi.com
jimukyoku@hagemashi.com

令和6年
12月号

はげまし

For the Riot Policemen
& Members

—No.580—

能登半島豪雨 捜索・救出救助活動



流木の除去(輪島市皆月)



土砂が流入した家屋(輪島市塚田川沿い)

去る9月21日、石川県の奥能登地方(能登半島北部)を中心に、記録的な豪雨が発生した。発災後、全国の警察から多くの部隊が被災地に派遣され、厳しい環境のなかで必死の捜索活動や救出救助を行った。

多くの地域で家屋が流れ、一般道路・高速道路は通行止めになった。さらに水道・電機・通信サービスなどのインフラが切断され、地域や施設が孤立状態となった。床上浸水や倒壊する家屋も多く、避難生活を余儀なくされた。地域は今年1月に発生した能登半島地震から復旧途中であり、今回の豪雨災害が追い打ちをかけることとなった。

警察は、広域緊急援助隊(警備部隊)、機動警察通信隊、広域警察航空隊及び警察庁災害対応指揮支援チームのべ約2800人を派遣(9月30日午前9時現在/警察庁災害警備本部)。捜索活動や救出救助を行った。なお当会は警察庁と連携の上、今回の豪雨災害の大規模支援品として、石川県警察本部に栄養ドリンク1000本を寄贈した。今回の豪雨により、15人



流木や土砂の堆積した川岸(輪島市塚田川沿い)



行方不明者の捜索(輪島市塚田川沿い)

復旧途中の被災地に甚大な被害

が死亡した(10月25日現在)。お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げるとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げ、一日も早く被災地が復旧、復興される日が訪れることを祈念する。また、被災者の捜索・救出救助に献身的に活動されている警察・消防・自衛隊をはじめ自治体、民間企業、医療機関、ボランティア等の懸命な支援活動に敬意を表す。

← 今月の賛助広告会員 →

- 日本製鉄株
- 大阪製鉄株
- 大東港運株
- 日鉄建材株
- 五十鈴株
- 日鉄鋼板株
- 株)エヌテック
- 玉造株



バケツで土砂を運搬(輪島市久手川)



土砂に埋もれた車両(輪島市町野町)



重機を使用しながらの捜索(輪島市町野町)



開会式会場御着時の両陛下

「清流の国ぎふ」文化祭(第39回国民文化祭と第24回全国障害者芸術・文化祭)10月14日(11月24日開催)のキヤッチフレーズは「ともに・つなぐ・みらいへ」清流文化の創造。共生・共創社会の実現とともに、岐阜県のアイデンティティーの源である「清流文化」の深化と発信を

「清流の国ぎふ」文化祭2024



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭

「清流の国ぎふ」文化祭

開会式にて

目指す、というものである。

国民文化祭は、浩宮時代の皇太子様が第一回(1986年)に御臨席され、平成以降も皇太子ご夫妻が務められてきた。両陛下は午前11時40分ごろ、JR岐阜羽島駅に到着。駅前では多くの市民らが小旗を振りながら両陛下を歓迎した。

開会式は、岐阜メモリアルセンター「で愛ドーム」(岐阜県岐阜市)で行われた。

開会式で天皇陛下は、最初に能登半島地震や豪雨災害の犠牲者、被災者らへ哀悼とお見舞いを述べられ、さらに「文化芸術活動の裾野が広がり、新たな文化の創造につながっていくことを期待しています」とお言葉を述べられた。

両陛下の御訪問に伴い、岐阜県警察の機動隊員や県外から特別派遣された部隊は、行幸啓先の沿道での交通規制や歓迎迎者への対応を実施。また、式典会場周辺では不審物の検索などを徹底し、無事に警備を完了した。



会場警備の状況

第41回北海道支部激励会

10月3日 札幌パークホテル

去る10月3日、北海道支部総会が行われた。機動隊員と会員とが交流を深める激励会は、来賓に濱坂真一北海道副知事、伊藤泰充北海道警察本部長らが出席。約100名の機動隊員が参加し、会員と合わせて約400名が堂に会した。

激励の言葉を機動隊員へ

会場に入場する機動隊員を会員が拍手で迎え、激励会がスタートした。まず当会の須藤哲也支部長が挨拶に立ち、「北海道でも巨大地震や自然災害がいつ起こるかわからない。その際には機動隊員の皆様の力に頼らざるを得ない。今後とも北海道民の安心安全の確保に尽力いた

だきたい」と述べた。続いて当会の中村真一理事長は、「当会は今年3月に創立50周年を迎えた。これまでのご協力に感謝します。本日の激励会は会員、機動隊員の懇親を深める年に一度の重要なイベント。激励・懇親の実をあげていただければ」と挨拶。

また来賓の濱坂副知事は、鈴木直道知事の祝辞の代読として、当会に対し「日頃から地域住民と北海道警察を結ぶ架け橋として尽力されている」と感謝を述べ、機動隊員向け「今後心な暮らしを支えてほしい」と激励した。

続いて、伊藤本部長が登壇。「ここに出席している機動隊員は、原子力関連施設や領事館等



懇親を深める会員と機動隊員



会場に入場後、壇上に整列する機動隊員



岸本世話人 伊藤本部長 濱坂副知事 中村理事長 須藤支部長

「ここに出席している機動隊員は、原子力関連施設や領事館等」の重要施設、各種デモ対応の警戒警備に従事しているほか、本年1月の能登半島地震の被災現場へも派遣された。隊員はいかなる事態にも迅速的確に対応できるように日々訓練に精進している」と機動隊の活動を紹介し、「今後とも温かい理解者として支援してほしい」と述べた。

そして岸本将世話人(日本製鉄(株)常務執行役員北日本製鉄所長)が「機動隊の皆さんが安全に活躍されることを祈念して」と乾杯の音頭を取り、懇親の時間となった。

隊員と会員が言葉を交わし交流を深め、宴もたけなわとなると、北海道警察本部の釣谷毅機動隊長が登壇。「35年ほど前に新隊員として北海道警察の機動隊に入隊し、機動隊勤務は3回目。機動隊は高度な技術や装備を駆使するなど、より専門性の高い部隊となっている。一方で隊員の気構えは変わっていない。隊員が胸を張って機動隊員



柳岡世話人



大きな輪になり「この世を花にするために」を斉唱 釣谷機動隊長



→ 今月の賛助広告会員 ←

- 藤田金屬(株)
- 岡谷鋼機(株)
- 芝本産業(株)
- 新ケミカル商事(株)
- 山陽特殊製鋼(株)
- 自見産業(株)

であると言えるのも日頃からのサポートのおかげ。激励の言葉を胸に刻み、一致団結して職務に邁進する」と述べた。

最後は全員で「この世を花にするために」を斉唱。中締めとして登壇した柳岡法篤世話人(日本製鉄(株)北海道支店長)は、隊員へのサプライズとして前機動隊長である丹羽晃(あき)俱知安警察署長のもとを事前に訪問し、いただいたメッセージを紹介。そして温かな雰囲気の中、万歳三唱をして閉会となった。

全国警察 空手道選手権大会



去る10月19日、第25回全国警察空手道選手権大会が開催された。空手道は、逮捕術にも有効とされる武道でもある。当日は研鑽を積んだ選手による熱戦が繰り広げられ、当会からは伊澤常任理事が来賓として参加した。

全国警察の精鋭選手 による白熱の戦い

全国警察空手道選手権大会の会場となった新宿コスミックスポーツセンターには、全国14都道府県警察から精鋭選手が参集し、団体組手と女子個人組手が行われた。

冒頭、田端全国警察空手道連盟会長が挨拶された。

「本大会は衆議院選挙期間と重なり、各チームとも選手の出場調整が難しい中であつたが、大会が開催できたことは本当にありがたいと、関係者に感謝したい。『侍』という言葉は『さぶらあ』に由来する。したがって、もとは自分の主人のいろんな世話をす

る人であつたが、その中で主人を守る仕事が大事になって、それが侍、武士になったと言われている。私は、常々現代の侍は警察職員であると思つている。理想の侍というのは人を守る事に誇りを持つ人、武道をたしなむ皆さんは警察の中で最も人を守るという仕事に誇りを持つて仕事ができるはずだと思つて。今後ともその気持ちをもつて頑張つてほしい」

団体組手戦は、まず3つの予選リーグ戦が行われ、1位・2位・3位チームが決勝トーナメントに進出した。決勝戦は、昨年と同じ警視庁と岡山県警察の対戦となつたが、警視庁が最後の大将戦を制し3・2の僅差で勝利し3連覇、18回目の優勝を果たした。

女子個人組手は、全国から選ばれた15名の選手が白熱した試合を展開した。決勝は昨年と同じ組み合わせとなり、高体連・学連、プレミアリーグなど国際大会でも実績のある新垣夏紀さんが、これも高体連・学連での実績のある秦美乃里さんを制して、連覇を飾つた。

試合後には、第4回全日本実業団空手道選手権大会の団体形で優勝した警視庁が迫力のある演武を披露。観客を魅了した。

← 今月の賛助広告会員 →

- 堀口海運(株)
- 日鉄ステンレス(株)
- 豊田通商(株)
- 日鉄エンジニアリング(株)
- 日鉄物流(株)
- 三井物産スチール(株)

Member's Lounge

機動隊員等を励ます会 10月の朝食講演会

ウェルビーイングとは、個人や社会が良好な状態であることを指す。今回はウェルビーイングな組織づくりを推進するハビネスプラネット社CEOの矢野氏をお招きし、膨大なデータから見えてきた「幸せ」と生産性の関係や、AI技術を用いたサービスについてお話しいただいた。

〈10月17日のゲスト〉

矢野和男 氏

株式会社日立製作所 フェロー
株式会社ハビネスプラネット
代表取締役 CEO



プロフィール

- 1959年 山形県生まれ
- 1984年 早稲田大学物理修士 卒業
株式会社日立製作所 入社
- 1991~1992年 アリソンナ州立大にてナノデバイスに関する共同研究
- 1993年 単一電子メモリの室温動作に世界で初めて成功
- 2004年から先行してウエアラブル技術とビッグデータ収集・活用で世界を牽引
- 2018年 日立製作所フェロー就任
- 2020年 「人間中心のIoT 技術の開発と実用化に関するリーダーシップ」に対し、IEEE Frederik Phillips Award を受賞。
- 2020年 ハビネスプラネット設立
東京科学大学情報理工学院 特任教授

著書

- 「データの見える手:ウエアラブルセンサが明かす人間・組織・社会の法則」(草思社、2014年)
- 「予測不能の時代:データが明かす新たな生き方、企業、そして幸せ」(草思社、2021年)

ウェルビーイングな組織が生産性を高める
『生成AI×人』でどこまでできる

1. ビジネスと個人の「幸せ」の関係

私は40年前に日立製作所に入り、半導体分野の仕事をしていましたが、今から20年前に日立が半導体事業をやめることになり、それまで培ってきた人脈やスキルをリセットしなければならぬという事態になりました。新しく何かを始めるために議論をする中で、これからデータが大事になる時代が来ると考え、データの使い方の研究開発をしてみました。

20年前は人の幸せや前向きさをもつと研究し、ポジティブサイコロジという分野を作ろうという動きがブームのようになり始めていた時期でもありました。そこで幸せと生産性や企業業績の関係について、データで何か道が開けるのではないかと研究をしてみました。実はこの20年くらいあいたに、GDP(国内総生産)や企業の利益と、幸せとの関係が循環しているというデータはつきり出ています。「働く」「経済価値」「幸せ」の関係について、20世紀のシステムでは、働いて、利益を出すことで、結果として幸せがついてくるという順番でした。しかし21世紀のシステムでは、利益を出すためには

一人ひとりが幸せでなければならぬ。つまり、三つの順序が一つ入れ替わっただけですが、考え方がかなり変化しています。幸せについて、仕事の場でこれまで裏面に語られることはほとんどなかったと思います。幸せは、結果としてついてくればよいものとして捉えられていました。しかし21世紀の時代には、幸せを語ることは業績を出すために避けて通れないのです。

2. ウェルビーイングの本質

そうはいっても、幸せというのは曖昧だし人それぞれだと思いがどうしても停止しがちです。実はこの四半世紀、世界中でブームのように幸せの定量的な研究が行われました。我々も世界的な科学者と共同研究をしてみました。

確かに、幸せの姿や手段は人それぞれ非常に多様にあります。ただ、その結果、我々の体内に生じる変化、血液や血管やホルモンや呼吸、発汗といったさまざまなバイオケミカルな反応は非常に普遍的なものです。これは人類の進化の中で生まれて

きた生き延びるための人間の本能でもあります。ならば人が自分の持つ生きている生体反応をよりよく活用して生きます。これがウェルビーイングの本質です。

そしてウェルビーイングな状態、あるいは体験は極めて統一的に捉えられることも見出しました。それは、その人がどれだけチャレンジングな状況にあるか、力を生かしているかということですが、チャレンジングな状況にあっても、力を生かせないと緊張したり不安になったりします。力を生かしていてもチャレンジングでないと人は必ず退屈します。人は自分の力を生かして、背伸びしようとして届くか届かないかという、そんな挑戦があると、夢中になって熱が入り、楽しく成長実感を得

(P4~7)

← 今月の賛助広告会員 →

- 合同製鐵(株)
- 宮崎精鋼(株)
- 日鉄物産(株)
- 平和農産工業(株)
- 東鋼業(株)
- (株)辻さく
- (一社)機動隊員等を励ます会
東北支部

(賛助広告募集)

「さからう」
られる。逆に楽しくなったり熱中したりするためにはこの条件が必要ということもデータで明らかになりました。

3. 挑戦を心地よく感じるスキル

快適な状態にあること、つまり「コンフォートゾーン」にいることが幸せであると捉えがちですが、そんなことはありません。これは、いろいろなデータで確かめられています。コンフォートゾーンにいると、その中でできることは時間とともに必ず減っていきます。なぜなら、変化に向き合って生き延びられるように我々の体は進化しているからです。

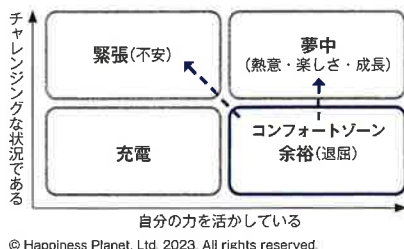
コンフォートゾーンの中から、チャレンジングなことに取り組む「挑戦領域」に出て、コンフォートゾーンを広げなければなりません。挑戦領域に入ると、緊張したり不安になったりします。けれどそこで頑張っていると必ず力がついてそのことに楽しさを感じたり熱中したりする「夢中」の領域に入っていきます。そしてどんどん習熟してくるので、チャレンジングだったことがコンフォートゾーンの中に入っていきます。

心理学では「To get Comfortable being Uncomfortable」すなわち「コンフォートゾーンから出ていく」ことを心地よく感じるスキル。これこそウェルビーイングの真髄となります。一見心地よくないことを心地よく感じることは、実はスキルで身につけられます(図1参照)。

皆さんも体験しているはずですが、例えば、体を鍛えるために筋トレをする、翌日筋肉痛になります。確かに不快な面はあるけれど、100%ネガティブではないですよ。自分がやろうとしていることが証として出ているのですから、これは人間関係でも仕事でも同じです。

今は働き方改革が叫ばれ、仕事

図1 なぜ「幸せ」だと、人は生産的で創造的なのか？



© Happiness Planet, Ltd. 2023. All rights reserved.

が「きつい」か「楽しい」かでその会社がブラックかホワイトかが判断されがちです。しかしこれは人間科学のベリタスを持っていない人の勝手なラベリングであり、本質から離れた議論です。

また多くの人が、仕事の成功によってその人が幸せになれると誤解しています。あるいは健康だったから幸せだと思っている人が多い。しかしそのような因果関係はありません。幸せだと仕事があまくいく、あるいは幸せだと病気になる、病気になるようになったとしても早く治るというように、逆の因果関係のほうが圧倒的に強いのです。

営業が幸せだと受注率は平均的に30%高く、幸せな人とそうでない人で創造性を計るテストをする、3倍も違います。さらに離職率は半分以下がり、会社に幸せな人が多いかどうかで利益率が18%も違うという定量的な報告がこの20年出ています。

幸せという言葉と、ビジネスの競争や採算性がある世界に距離を感じる人は大変多いと思います。が、幸せは緩い状態ではなく、前向きな精神的なエネルギーを持つ状態が本質です。この前向きな後向きかというものは、決して性格ではなく、車の運転のように練習すれば誰でも身につけられるスキルなのです。

4. 幸せで生産的な人かどうかわかる「V字型」

この20~30年の研究から極めてコンスタントに出ているのが、いい人間関係がないと幸せにならないというデータです。そのため当然、コミュニケーションが大事ですが、ではこのコミュニケーションの多さが幸せで生産的な人とならない人を分ける「ファクターX」なのかというと、全く違います。

皆さんの周りによく話すが、5、6人いて、そのうち2人を取り出した時に、その2人の間に会話がない場合、関係性を図で表すとV字型になります(図2参照)。

一方、2人の間に会話があるなら、2人が線でつながって三角形になります。実は、この三角形のほうが生産性も幸福度も高いことがわかったのです。

V字型は、例えばあるプロジェクトに参加して、リーダーとは別に、自分を評価する上司がいる時、リーダーと上司が全く話さないという場合です。要するに用事だけの関係がV字型です。一方、三角形はコミュニケーションに連帯や信頼関係が強い関係です。

図2 ファクターXとは
「利他的な三角形の関係」が多い集団は、幸福度も高いことを発見。

5. 生成AIが変えるもの

私達は生成AIの登場によって、今後は働き方がまるきり変わっていくと思います。今の社会や会社の仕組みは、生成AIがない前提で作られています。けれど生成AIがあるという前提で、ゼロリセットで考えてみれば、今の仕組み通りにやるのかという問いを持たなければなりません。

ただチャットGPTを使うだけでは、その回答は常に絵画的です。人の心を支えるようなものでもなし、鋭い目線があるわけでもありません。というのは、今の生成AIは特定の思想や見方に偏らないうえ、バイアスがない方が良くないとされているからです。ただ、バイアスが悪いことでバイアスを避けるべきという考えは、非常に偏った見方だと私は思っています。

我々は、特定の人の考え方を生成AIに入れて、まさにバイアスのAIを作りました。これを「Bustle(分身)」と名付けました。例えば、会社が大きくなると、会社の方針やビジョンを従業員全員に浸透させるのは難しくなります。先月発表させていただいたのが、家電量販店ノジマさんの社長のBustleです。もともと野島社長の考えは、「ノジマウェイ」という書籍になっています。それを元にBustleを作り、例えば「価格競争が激しい中で地域一歩店を目指すならどうしたらいいか」という質問に、野島さんが本音で言った言葉や引用し、「ノジマウェイ」のページ数引用箇所まで添えて答える仕組みを作りました。従業員は24時間いつでも相談ができます。

日立製作所の中長期経営計画の二大柱の一つはウェルビーイングです。政府の基本方針の中にも、文科省の教育振興の柱の一つもウェ

講読後質疑応答

Q 生成AIは既存のものから出てくる結果という理解ですが、AIを使ってオリジナリティを発揮するために、どういったことが考えられるでしょうか。

A 新しいイノベーションや新しい問題解決がどのように生まれるかという、既存のものとの組み合わせを構想した大野耐一さんは、アメリカで自動車工場を視察しても日本の現場に参考になることはなかったけれど、スーパーマーケットが大きなヒントになったそうです。自動車工場とスーパーマーケットを結びつけた。こういうブリッジをかけるような発想が、今であれば生成AIの中にあるわけです。横に橋をかけるというのは、クリエイティブあるいはイノベータータイプに問題解決することの本質です。つまり生成AIをうまく使うと、そういうことがいらいでもできるのです。ものすごいイノベーションのタネがあると考えています。

がありがパフォーマンスマンにも直結する結果が出ています。

私達は生成AIの登場によって、今後は働き方がまるきり変わっていくと思います。今の社会や会社の仕組みは、生成AIがない前提で作られています。けれど生成AIがあるという前提で、ゼロリセットで考えてみれば、今の仕組み通りにやるのかという問いを持たなければなりません。

ただチャットGPTを使うだけでは、その回答は常に絵画的です。人の心を支えるようなものでもなし、鋭い目線があるわけでもありません。というのは、今の生成AIは特定の思想や見方に偏らないうえ、バイアスがない方が良くないとされているからです。ただ、バイアスが悪いことでバイアスを避けるべきという考えは、非常に偏った見方だと私は思っています。

編集後記

今回の矢野先生の講演は、今までの僕らに耐えつつ、それなりにやる気をもって仕事に打ち込んできた昭和世代の思いを論理的に解説いただける内容でもあり、経営者、管理職必見です。

会員限定でYouTube動画も配信します。興味のある方はメールにて事務局までご連絡ください。
(jimukyoku@agenashi.com)
(1) 働き方改革事務局